

これからの小水力発電のあり方座談会

～地域と調和した小水力発電事業とは～

長野県は急峻な地形や河川の豊富な流量から、小水力発電の導入ポテンシャルが高く、脱炭素社会の実現に向けては、その普及が不可欠ですが、発電所の設置に際しては地域との丁寧な合意形成が求められます。

本座談会では、地域協働型の小水力発電事業を行う講師による講演をお聞きするとともに、参加者間の対話を通じ、地域と調和した小水力発電事業のあり方について考えます。



講師の略歴

1989年生まれ。高山市出身。
2015年 飛騨高山小水力発電株式会社設立。

現在、全国にて小水力発電については数十の事業体の設立や岐阜県高山市の脱炭素先行地域の事業にも関与している。

活動サイト：<https://goboc.jp/>

日時 2024年9月9日（月） 13:30-15:30
場所 R-DEPOT
長野県長野市鶴賀権堂町2312 内山ビル 2F
参加対象 発電事業者及び市町村担当者
参加費 無料
申込方法 9月5日（木）までに申込フォームより申込んで下さい
定員 40名程度※



参加フォーム

https://apply.e-tumo.jp/pref-nagano-u/offer/offerList_detail?tempSeq=47194

オープニング

□ 題目：小水力発電事業における円滑な地域合意の形成と地域協働型の発電事業について

講演

□ 講師：飛騨高山小水力発電株式会社
代表取締役 井上博成 氏

ディスカッション 1

テーマ：地域合意に関する課題について

ディスカッション 2

テーマ：技術力、資金力等に関する課題について

クロージング・名刺交換

※：申込みが定員に達した場合、1団体あたりの参加者を制限させていただく場合があります



お問い合わせ先：長野県ゼロカーボン推進室 担当 土屋

TEL：026-235-7255

E-mail：sai-ene@pref.nagano.lg.jp